



《トレド》部分 1990年 天童市美術館所蔵 170×420cm



《莫高窟》1986年 個人蔵 151×80cm

# 三六〇度の世界 松本哲男展

10月20日(金)  
-11月19日(日)



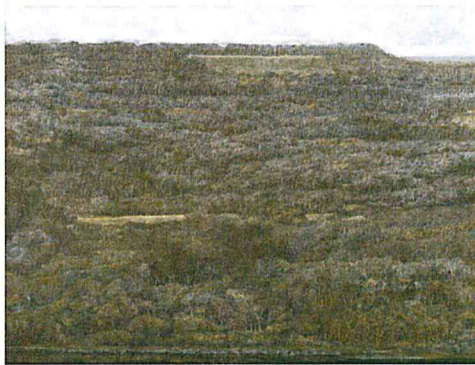
《文明・エジプト》2005年 個人蔵 220×600cm

三六〇度の世界

# 松本哲男展



《冬山》1969年 80×100cm



《叢林》1972年 170×225cm



《滝》1976年 225×180cm

## 全身で受け止め、全力で描く



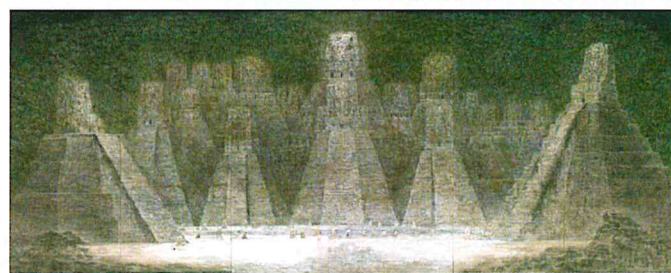
《タシ・ルンボ寺 チベット シガツェ》1987年 166×340cm



《ラダック・天》1991年 216×522cm



《三春滝桜-色即是空-》1998~00年 220×600cm



《ティカル追想(マヤ)》2012年 230×600cm

記念講演会

## 松本哲男の世界

10月22日(日)

午前11時から ※入館料必要

講師：当館館長

場所：ゲストルーム

## ギャラリートーク

当館館長

10月22日(日)、11月19日(日)

午後2時から ※入館料必要

松本哲男(1943-2012)は自然に向き合い、眼前に広がる風景を描き続けました。美術教師として着任した那須の風景画に始まり、ヨーロッパ、中国の自然を描きます。特に中国は松本の感覚にもよく合い、《黄山雷動》《大同石佛》などの代表作を生み出しました。中国からインド、チベットにも足を延ばした松本は、1994年に開催したパリ個展をきっかけにもっと大きな自然、世界三大瀑布に挑戦しました。長さ12メートルにも及ぶ大作《ヴィクトリア・フォールズ(アフリカ)》《イグアス(ブラジル)》は現代日本画の中でも、大作を得意とする松本のランドマークとなる作品となりました。

その後は、古代文明を主題とした風景と文明の痕跡を重ね合わせたダブルイメージの作品を発表しましたが、志半ばで急逝します。没後、初めての回顧展となる本展覧会では、代表作「世界三大瀑布」や素描を一堂に紹介します。

入館料：一般500円、高校・大学生300円、小・中学生200円

20名以上の団体は2割引き

身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳及び療育手帳を提示された方は表示料金の半額。(同伴の介護者は無料)

開館時間：午前9時30分～午後6時(入館は午後5時30分まで)

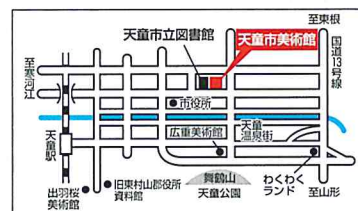
休館日：毎週月曜日

主催：天童市、(公財)天童市文化・スポーツ振興事業団、松本哲男展実行委員会

共催：天童市教育委員会

助成：一般財団法人 地域創造(公立美術館共同巡回展支援事業)

所蔵先：上段左より 個人、日光市、佐野市立吉澤記念美術館 中段左より 個人、個人 下段左より 宇都宮美術館、個人



## 天童市美術館

Tendo City Museum of Art

〒994-0013

山形県天童市老野森一丁目2番2号

TEL：023-654-6300

FAX：023-654-6301

URL <http://tendocity-museum.jp/>